

# ぶろしよっぷつうしん

## 第一回 最近の気になる質問の1つ

今回からプロシヨップつうしんは著者が変わりました、とある「猫好きドリラー」が書くことになりました。よろしくお願いたします。

さて、今回から内容を一新していきたいと思いますが、ここで皆様にまずお願いがございます。それは、ボールについての質問や、不思議に思っていることなど、聞きたいことがあれば伝えてほしいということです。一人の疑問はみんなの疑問。その質問等をこのプロシヨップつうしんを通して、皆様に発信して伝えていけたら、なんて思っています。

それでは記念すべき最初の話題ですが、最近とても質問が多くなってきたいて、ドリラーの中でも注目度が高くなっているお話をしたいと思います。

それは、「このフィンガーグリップ、減っている？」です。

皆さんご存知の通りのゴム、フィンガーグリップは指の保護や回転をかけるときに乗せたりひっかけたりと、あると非常に便利な消耗品の一つです。

これが擦り減ってきましたと当然緩くなって、力を入れてボールを握り、力みで回転がかからなかつたり、山がなくなることですっぽ抜けたりと、良いことは一つありません。

では、そんな状態で投げ続けているとどうなるでしょうか？

おそらく考えられるのは、ボールが曲がらなくなってしまう、じゃあ手をもっとひねってなんとかしようとなり、結果どこかを痛くしてしまう、さらに痛みで変な癖がついてしまう、癖を直そうと思っても一度ついてしまった癖はなかなか

かなくならず、元の良かった投げ方を忘れてしまう。という、負のスパイラルに陥ることが一例として挙げられるでしょう。

怖いですね、ゴム一つで今まで築き上げた投げ方が無くなってしまったら。なので、これを読んでいただいた皆様には、フィンガーグリップの重要性を心の片隅に置いておいてほしいと思います。

では、実際どうしたらいいのか？という話になるわけですが、まずはご自身でチェックです。

すり減ってしまったゴムのいうのは角ができて触るとすぐにわかります。タイプによっては山がなくなっているものもあります。新品のフィンガーグリップは丸みがいっぱいあります。もしわからなければ、ドリラーに聞いていただければすぐに判断できます。

また、個人的なおススメではありますが、ぜひみなさまご自身のフィンガーグリップの予備を1セット、バッグに用意してみてください。新品が手元にあれば、比べることですぐにすり減ってしまったのもわかりますし、最悪例えは取れてなくなってしまうとしても、予備があれば慌てることなく安心して投球できますよ。

ちなみに私は50ゲームくらいで新品に交換しています。

<筆者>



猫をこよなく愛し  
猫に愛されたい  
とあるポウラー

<好きなもの>  
にゃんこ